

NPO法人IMAGINUS・学生ボランティア連合「晴」 受援力向上に向けた意見交換会

開催日時：令和7年1月12日（日）14:00～16:00

開催会場：早稲田集会所ホール

参加者：NPO法人IMAGINUS・学生ボランティア連合「晴」 ※計6名

早稲田学区自主防災連絡協議会、ジュニア防災リーダー（中学生） ※計14名

早稲田学区の受援力向上の取り組みとして、能登半島地震の被災地で災害ボランティア活動をしている学生ボランティア連合「晴」とその活動をコーディネートされているNPO法人IMAGINUSの皆さんをお招きして受援力向上のための意見交換会を行いました。



1. 自己紹介

2. 能登半島地震被災地での支援報告（学生ボランティア連合「晴」）

- ❖能登半島地震の被災地支援と「晴」の結成について
- ❖夏休みの子どもへの支援
- ❖仮設住宅の住民の方々への支援
- ❖能登の伝統産業（輪島塗）への支援



学生ボランティア連合「晴」からの報告

3. 早稲田学区の防災まちづくり紹介（わせだ自主防）

- ❖早稲田学区での防災まちづくりのはじまり
- ❖防災まちづくりとしての活動
- ❖これからの防災まちづくり



わせだ自主防から質問

4. 意見交換会

〈学生ボランティア連合「晴」からの質問〉

- ・お話し避難体験のニーズと参加者からの感想など
- ・個々の関心や能力に合わせた防災学習の実施方法
- ・新たな人が防災に取り組むために意識していること
- ・防災まちづくりで住民とつながりを作るために工夫していること
- ・活動内容や参加者が固定化しないための取り組み
- ・早稲田学区のまちづくりの特徴

〈早稲田学区からの質問など〉

- ・災害ボランティアの活動と現地のニーズの違い
- ・災害ボランティアを受け入れるために必要になること
- ・避難所の運営を改善させるための取り組み
- ・被災地における活動のネットワークの作り方

〈ジュニア防災リーダーからの感想〉

- ・早稲田学区では防災の基本が学べるだけでなく、ジュニア防災リーダーとして活動することでもっと深く防災を知ることができるので、将来も関係していきたい
- ・防災を通じて早稲田学区の良さを再確認できるし、訓練では大人の人に活動を説明する機会もあって、人として成長できる機会もてる



ジュニア防災リーダーからの感想



参加者で記念撮影